

平成25年度 複合型特別養護老人ホームの再公募選定結果

事業者名	社会福祉法人 悦和会		<b><u>選 定</u></b>		
代表者氏名	山口 一馬				
応募行政区	小倉南区				
評価結果	評価項目		配点	評価	得点
	基本方針・運営方針に関するもの	法人の経営理念	4	C	2.4
		施設の基本方針	4	C	2.4
		地域福祉の核となる取組み	2	C	1.2
		利用者への情報提供・情報公開	2	C	1.2
		利用者一人ひとりへのサービス提供	2	C	1.2
		サービスの質の向上策	2	C	1.2
		職員の育成・職場環境	2	B	1.6
		低所得者に対する配慮	2	C	1.2
		利用者の尊厳の保持	2	C	1.2
		苦情解決の仕組み	2	C	1.2
		事故発生時の対応	2	C	1.2
		衛生管理等の対策	2	C	1.2
		非常災害対策	2	C	1.2
		虐待防止対策	2	C	1.2
		個人情報保護対策	2	C	1.2
		サロン活動の実施方法と地域密着型としての地域との連携	4	C	2.4
		地域住民への生活支援	4	B	3.2
		認知症高齢者ケア	4	C	2.4
		ユニットケア（個別ケア）の実現	4	C	2.4
	事業計画の具体性・実現性と継続性	20	C	12.0	
	小計		70	—	43.2
	施設の特徴に関するもの	施設面での特徴	5	C	3.0
		環境への配慮	3	C	1.8
		複合型施設としての創意工夫や取組みの特徴	5	C	3.0
		施設配置（既存施設との距離）	7	A	7.0
		立地面での特徴	10	B	8.0
小計		30	—	22.8	
合計		100	—	66.0	

事業者名	社会福祉法人 悦和会
評価内容	<p>〔総評〕</p> <p>今回の提案については、ほとんどの評価項目について標準的なレベルを満たしており、全体として一定の評価ができる内容となっている。</p> <p>また、応募法人は、提案のあった複合型施設建設予定地の隣地において、長年にわたり高齢者施設を運営し地域住民との交流や協力関係を築いており、今回の提案では、地域でのこれまでの取組みや緊急時の協力体制などの現状を踏まえ、「地域連携」や「地域住民への生活支援」等の項目で、地域の方の具体的なニーズや意見、またそれらの課題等も考慮し新たな取組み等についての提案がなされており、評価できる。</p> <p>また、ヒアリングにおいて提案内容を確認した結果、全体として、これまでの施設等の運営実績を踏まえ、提案内容の実現性を有していることが確認された。</p> <p>その他の主な項目についての評価は以下のとおりである。</p> <p>〔項目ごとの評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「職員の育成・職場環境」では、資格手当の支給や職員のストレスチェックの導入など、職員の育成と職場環境の両面において、具体的な取組みが提案されている。</li> <li>○ 「地域住民への生活支援」では、高齢者の方を介護している家族を支援することにより、地域の中での孤立を防ぐ取組みのほか、地域の高齢者への支援などいくつかの特徴的な取組みが提案されており、評価できる。</li> <li>○ 「複合型施設としての創意工夫や取組みの特徴」では、家族や地域住民に対し、認知症についての正しい知識と理解の啓発を行うなど、複合型施設として地域へ貢献しようとする取組みが明確に示されている。</li> </ul>
付帯条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定までに既存の事業所が実地指導等で指摘を受けた場合は、指摘事項について改善を行うこと。また返還金等が発生した場合は誠実に返還すること。</li> <li>○ 指定までの期間も継続的に地域住民への説明を行い、理解と協力を得られるように努めること。</li> <li>○ 複合型施設の運営にあたっては、地域密着型サービスの理念に基づき、サロン活動を通じて介護予防の拠点と地域交流の場としての役割を果たすとともに、地域福祉・地域医療とのネットワークの強化に努め、地域における在宅支援の介護拠点を目指すこと。</li> <li>○ 提案の早期実現に向け、質と量の両面における十分な人員体制を整えるとともに、開設を安全・円滑に行うため、施設全体として、事前の職員研修等の準備を徹底すること。また、職員のキャリアアップを図るため、支援の取組みを一層充実させること。</li> <li>○ 「地域住民への生活支援」において提案された内容は、確実に実現すること。</li> </ul>